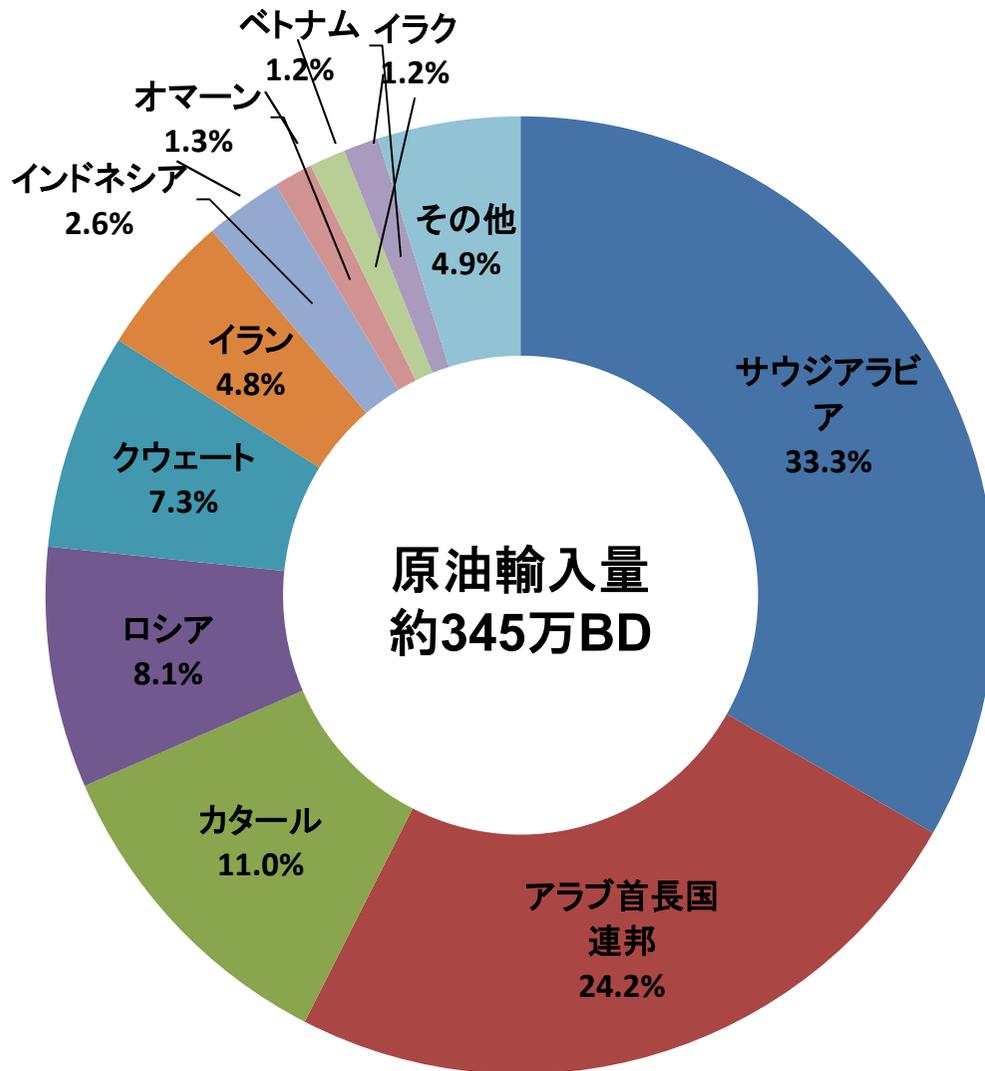


# 我が国のエネルギー調達状況と LNG運搬船の受注動向

# 化石燃料の輸入の状況

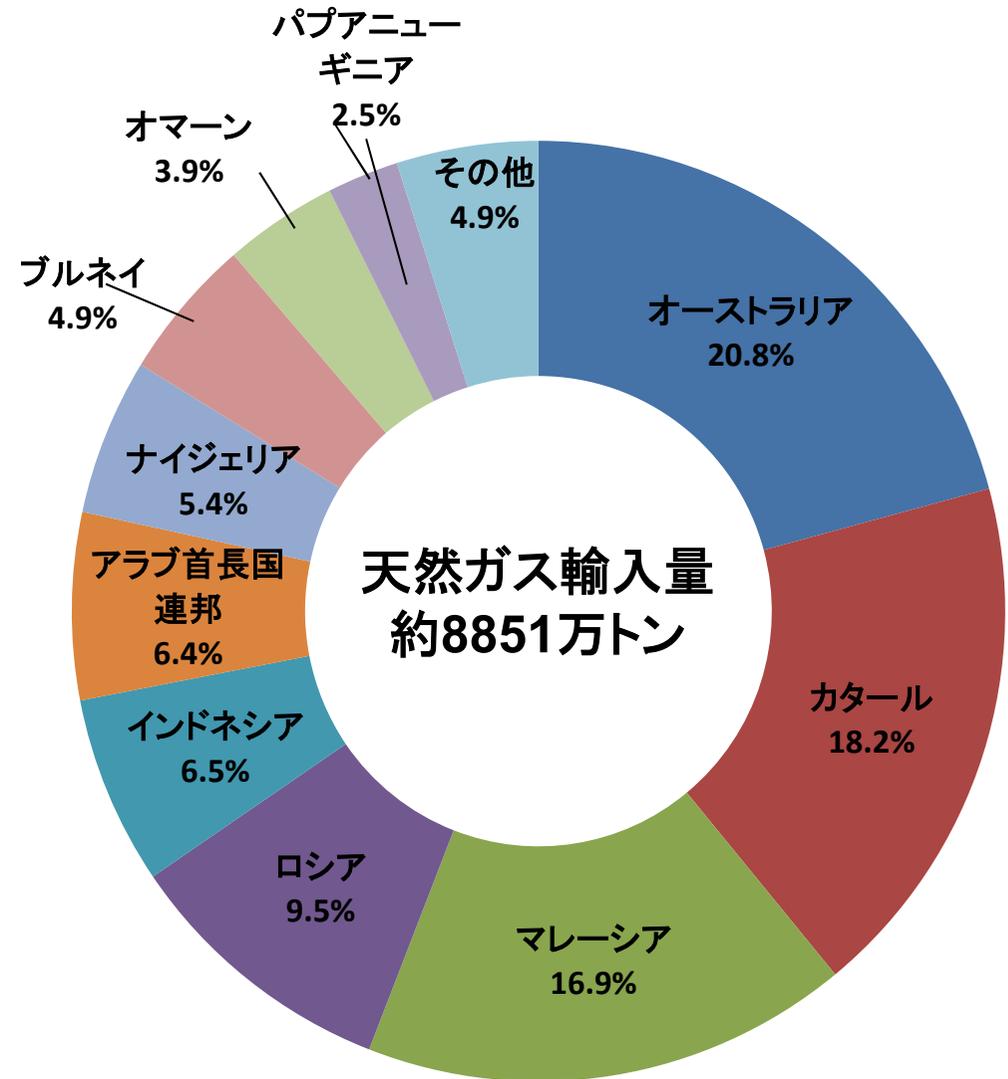
○原油は中東依存度が高く、天然ガスは豪州、東南アジア諸国への依存度が高い。

## 原油(2014年)



中東依存度 **82.0%**

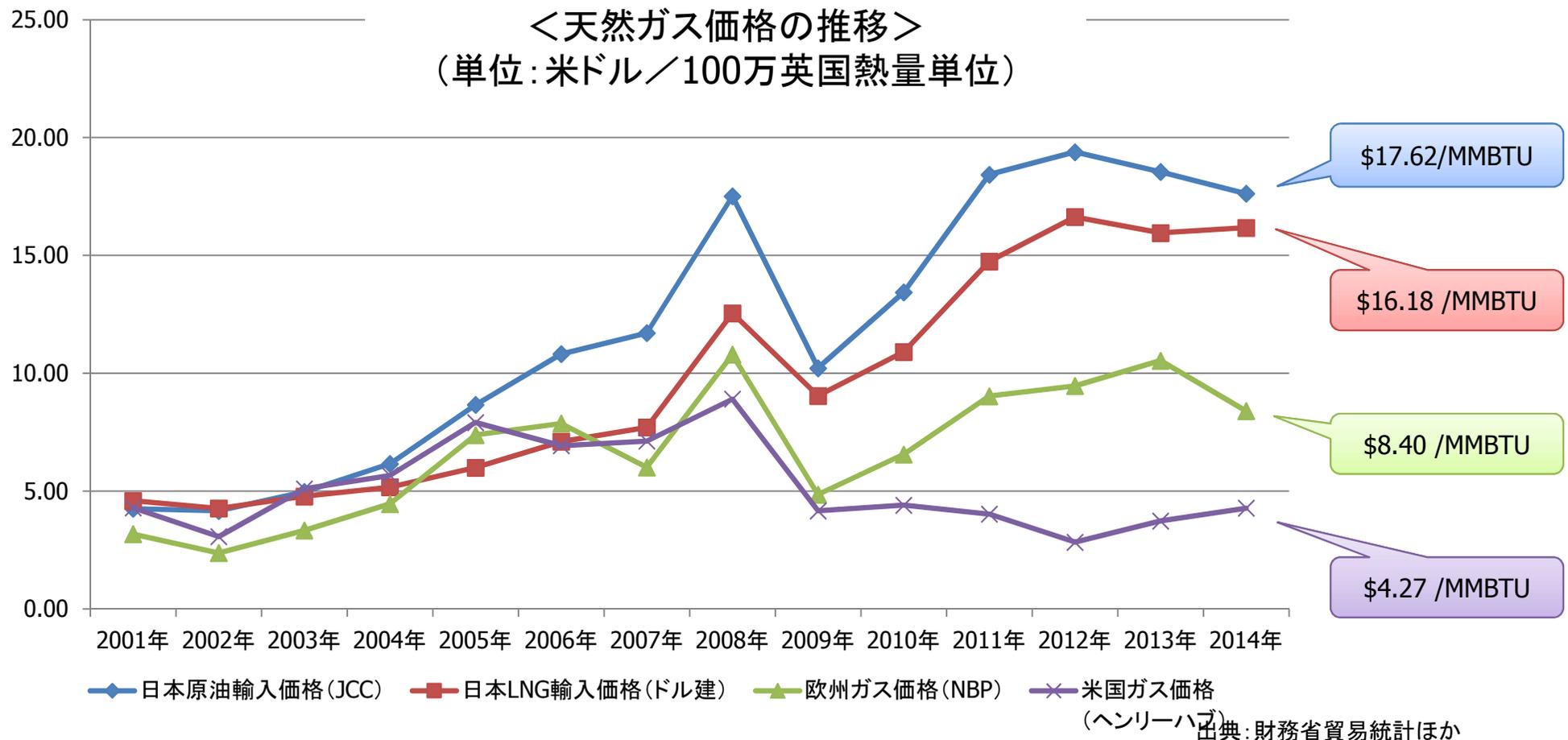
## 天然ガス(2014年)



中東依存度 **29.7%**

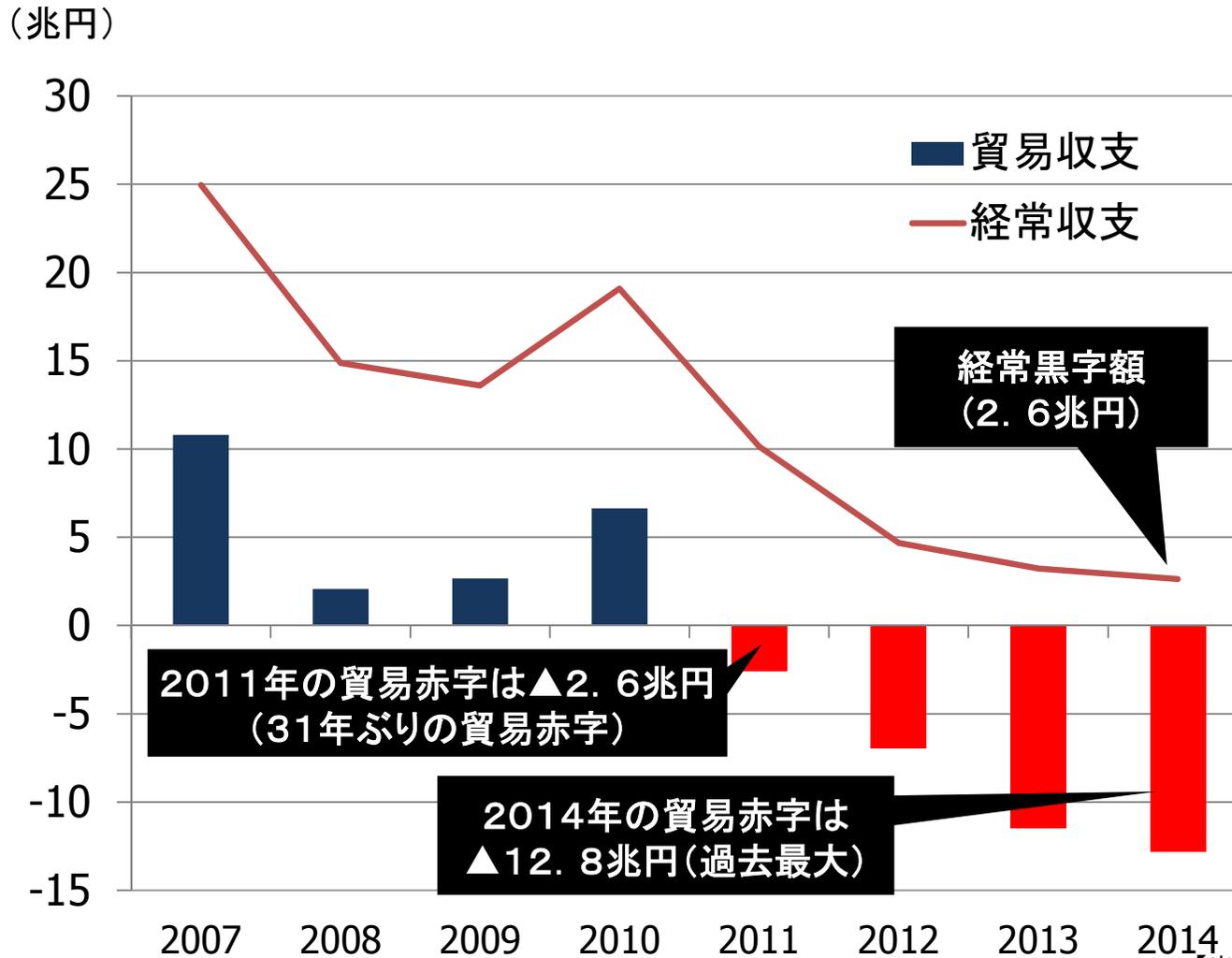
# 日・米・欧の天然ガス調達価格推移

- 東日本大震災後、原発停止により、火力発電(特にLNG火力)の稼働率が大幅に上昇。その結果、我が国のLNG需要は約2割増加(2010年7000万トン⇒2014年8850万トン)
- 加えて、我が国のLNG輸入価格も大きく上昇(2010年10.8ドル/MMBTU(英国熱量単位)⇒2014年16.2ドル/MMBTU)。こうした需要増・価格高騰を受け、我が国のLNG調達費が大幅に増大(2010年3.5兆円⇒2014年7.8兆円)。



# 貿易収支・経常収支の推移

○燃料調達費が増大した結果、2011年、我が国は31年ぶりに貿易赤字に転落。2014年は貿易赤字が12.8兆円に拡大。



【出典】

貿易収支:財務省 貿易統計

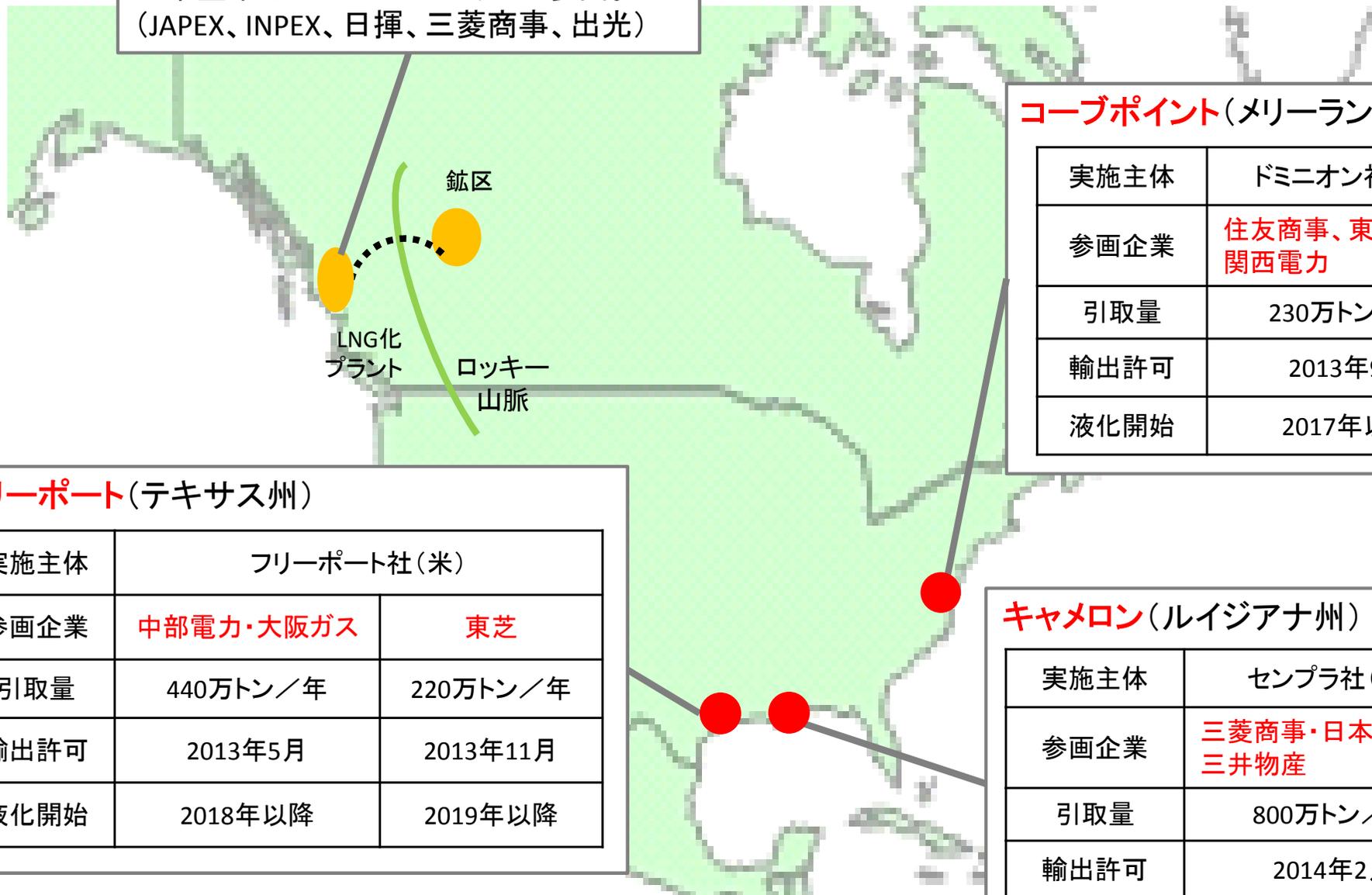
※「総輸出額－総輸入額」を記載

経常収支:日本銀行 国際収支統計

# 北米におけるLNGプロジェクトについて（日本関係）

## カナダ

日本企業は4つのプロジェクトに参画。  
 (JAPEX、INPEX、日揮、三菱商事、出光)



## コーブポイント(メリーランド州)

実施主体	ドミノン社(米)
参画企業	住友商事、東京ガス、 関西電力
引取量	230万トン／年
輸出許可	2013年9月
液化開始	2017年以降

## フリーポート(テキサス州)

実施主体	フリーポート社(米)	
参画企業	中部電力・大阪ガス	東芝
引取量	440万トン／年	220万トン／年
輸出許可	2013年5月	2013年11月
液化開始	2018年以降	2019年以降

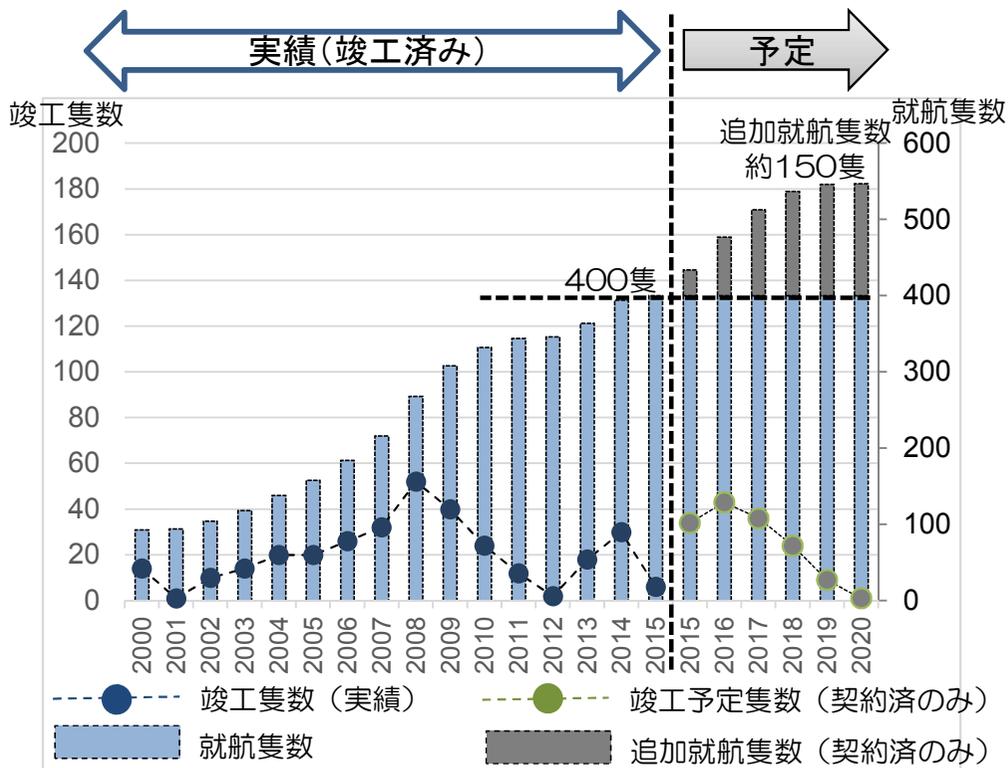
## キャメロン(ルイジアナ州)

実施主体	センプラ社(米)
参画企業	三菱商事・日本郵船、 三井物産
引取量	800万トン／年
輸出許可	2014年2月
液化開始	2017年以降

# LNG運搬船の受注等動向

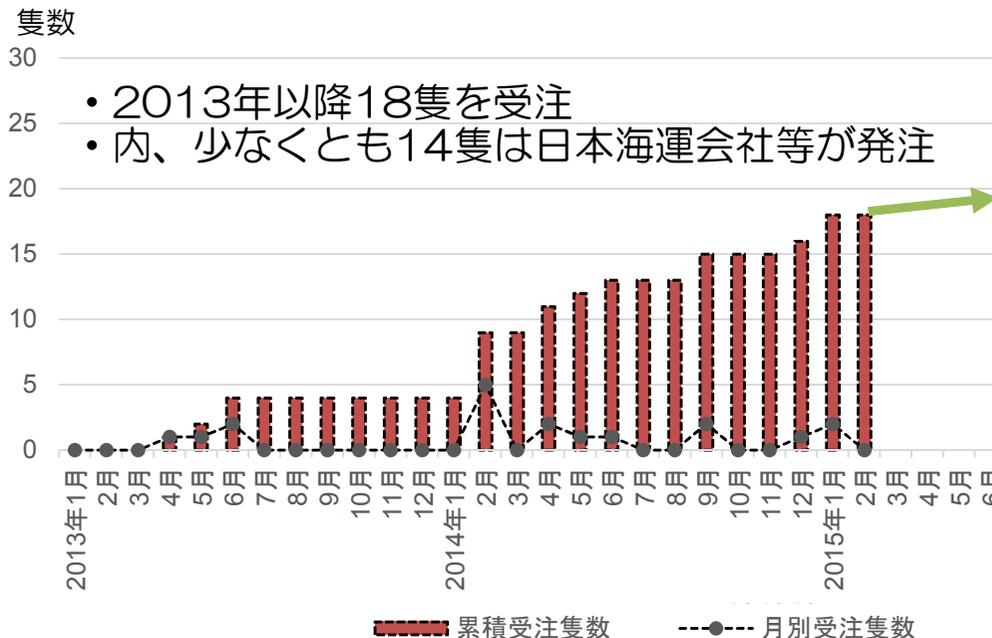
## LNG船の就航隻数と今後の見通し

- 2015年2月末時点で、400隻のLNG船が就航。
- 今後も約150隻のLNG船が竣工する見通し。



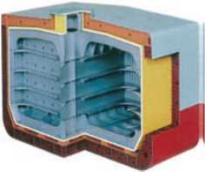
## 我が国造船所のLNG船受注（2013年以降契約船）

- 日本向けシェールガス輸送を担うLNG船を中心に、受注を積み上げ。



- 2013年以降18隻を受注
- 内、少なくとも14隻は日本海運会社等が発注

- シェールガス輸送に適したLNG船をラインナップし一定の受注を確保

モス型 (MHI, KHI)	SPB (IHI, JMU)	メンブレン (今治)
 イメージ図 (MHIホームページ)	 イメージ図 (KHIホームページ)	

11隻受注

5隻受注

2隻受注

(参考) シェールガスの輸入に伴うLNG船隊整備

日本の輸入 約1200万トン※1

※1：報道等がなされたもの。

LNG船 20隻以上※2

※2：8万トンの輸送が可能なLNG船が年間7航海と仮定。